



北海道ワインアカデミー 公開講座 「山梨におけるブドウ栽培について」

北海道は、醸造用ぶどうの栽培面積が日本一で、ワイナリーもこの10年間で3倍以上となる48カ所を有する国内有数のワイン産地です。また、2018年6月には、山梨県に続き、国際的な産地保護制度であるGI制度によるワインの産地として「北海道」が国から指定されました。

それを背景に、まさに今、ワイン産地北海道としての技術向上が求められ、北海道では、これまで5年間にわたり「北海道ワインアカデミー」を開催してきましたが、今回は、より幅広い方々にワイン用ブドウの栽培に関心を持っていただくために、ワイン生産およびブドウ栽培に歴史のある山梨県の「山梨県ワイン酒造組合」より前組合長の齋藤浩氏を講師にお迎えし、公開講座を開催いたします。

日時：2020年11月26日（木） 10:00～12:00
場所：北海道大学農学部・総合研究棟 W109教室
参加費：無料 定員：50名（定員になり次第、締め切りとさせていただきます）
対象：醸造用ブドウ栽培及びワイン醸造の経験が浅い方、
北海道のワインについて関心のある方ならどなたでもご参加いただけます
お申込：お名前、連絡先を明記の上、FAXまたはメールにてお申込ください
FAX 0134-64-5582 E-mail info@winecluster.org

<セミナー内容>

テーマ：「山梨におけるブドウ栽培について」
（山梨県ワイン酒造組合の取り組みを実例に）

講師：メルシャン株式会社 顧問 齋藤 浩氏

【講師プロフィール】1981年に入社後、勝沼ワイナリー栽培課勤務となり1988年にカリフォルニア大学デイヴィス校に留学し、当時の世界でも最新の栽培技術を学ぶ。1994年にはフランス・ポルドーにある、シャトー・レイソンに勤務し、栽培と醸造において酒質の向上に大きく寄与する。1999年に帰国、ヴィンヤード・マネージャーとなり、近年の各契約栽培地のブドウの品質向上に大きな貢献をし、2006年にゼネラル・マネージャーに就任、ワイナリー全体の総責任者となるとともに、栽培総責任者としてのチーフ・ヴィンヤード・マネージャーも兼任した。2014年にゼネラルマネージャーを退任し、現在顧問を務める。



FAX 0134-64-5582

FAX申し込み

（お早めにお申込みください）

お氏名： _____

返信FAX番号： _____ 連絡先電話番号： _____

主催：北海道経済部

お問い合わせ先：北海道ワインアカデミー 事務局

NPO法人ワインクラスター北海道 (E-mail: info@winecluster.org)